

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17065	観光協会運営支援事業	課名	地域観光課 地域サービスG
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	04:まちづくり観光の推進	目	07:商工費
	施策の方向	01:持続可能なまちづくり観光の推進	目	01:商工費
戦略プロジェクト	-	目	03:観光費	
事業予定期間	H 21 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市観光協会への補助金交付基準	

目的・概要	対象	一般社団法人亀山市観光協会
	目的	まちづくり観光のコーディネート力、推進力を確保するため、亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図る。
概要		亀山市観光協会への財政的支援を行うとともに、観光協会主催イベントの開催支援やポスター、パンフレットの印刷、ホームページ運営などの情報発信、フィルムコミッションの運営等に対する支援を行う。また、観光協会事務所移転や組織体制等の検討を行い組織の基盤強化を目指す。

事業の計画・実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度計画	亀山市観光協会への補助金交付 亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営 観光協会事務所移転等の検討		亀山市観光協会への補助金交付 亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営		亀山市観光協会への補助金交付 亀山市観光協会の運営支援 ・観光案内(観光案内所対応) ・観光情報の発信 ・フィルムコミッションの運営
年度実績	観光協会HPの更新及び細やかな情報更新の支援 事務所移転の検討の中で、まず観光案内機能の強化のため、足湯交流施設での効果的な観光案内について協議を進めた。 フィルムコミッションの運営支援 ○各種イベント支援		○観光協会HPのきめ細やかな情報更新の支援。 ○足湯交流施設の案内機能の強化支援。 ○フィルムコミッションによるメモリアルフォトサポート事業の実施支援(計8回)。○みつまたを愛する会との連携を支援し、地域資源である亀山産みつまたの掘り起こし。 ○足湯庭園、ラッピングトラック、東海道ひなまつり等、イベント実施支援。			
事業費	計画額	事業費	18,700千円	18,700千円	18,700千円	
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	予算額	事業費	17,700千円	17,700千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	決算額	事業費	17,060千円	16,385千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
人件費	総人件費	2,355千円	2,352千円	0千円		
	一般職員	2,355千円	2,352千円	0千円		
	所要人員	0.30	0.30			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円		
	総コスト(+)	19,415千円	18,737千円	0千円		
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%			

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	フィルムロケ地誘致回数	計画値 2	3	4
			実績値 0	0	
			単位 回	回	回
	名称	ホームページ閲覧数	計画値 90,000	95,000	100,000
		亀山市観光協会のホームページ閲覧数	実績値 185,127	181,722	
			単位 回	回	回
名称		計画値			
		実績値			
		単位			

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 観光協会の運営基盤の強化については、最適な観光案内のために、訪問客の動線を読み、HPなどを通じてきめ細やかな情報発信を行うほか、観光駐車場に隣接する足湯交流施設における効果的な観光案内の充実が必要である。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 訪問客の動向は、自動車による個人訪問に移行していることから、観光駐車場に隣接する足湯交流施設を更新し、案内窓口を新設し案内機能を強化した。また、ホームページの更新も頻繁に行い、三重県観光連盟HP「観光三重」及び亀山市観光連携会議ツイッター「亀山観光」と一体となって情報発信を行った。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 全体的な訪問客は低減しているが、きめ細かい情報発信によりホームページのアクセス数は例年どおり推移しており、観光地としての魅力が低下したものでないと認識している。また、コロナ禍のなかで活動に制約がある中で、新たな取り組みを行い、結婚式場の前撮りなどを対象とするメモリアルフォトサポート事業の実施、市の魅力を全国に発信するラッピングトラックの企画等を行った。一方、地域資源の掘り起こしに取り組み、みつまたを愛する会と協働して亀山産みつまたの発信に取り組んだ。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 年間を通じて活動に制約がある中で、ソーシャルディスタンスを保つ安全な手法を模索して事業が実施できたと思われる。創意工夫の中での取り組みであるが、特に新規事業としてみつまたを愛する会と伊勢和紙製造会社と連携を支援し、地域資源である亀山産みつまたを原料とした伊勢和紙づくりに取組み、三重国体の表彰状として採用されるなど、地域資源を掘り起こしが行えたことは大きな成果と考える。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 観光協会の運営基盤の強化については、活動が制限を受け事業が縮小することや会員数の減少などの要因で、依然として自立した運営には至らない。創意工夫した取組が求められる。	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 コロナ禍で訪問客の質は変化しており、個人訪問客の動向を把握して適切に観光案内を実施していく。個人訪問は事前の観光地の密の状態やディスタンスの取組み等の情報をインターネットを通じて事前調査を行い、旅中でゆったりと充実した観光コンテンツを利用できる場を模索していることから、さらなる情報発信の充実を図り、観光地のリピート効果を誘導し、にぎわいを取り戻す展開が必要であり、もって観光地の活性化により、観光協会の経営基盤の強化に結び付くものと考え。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 新たな訪問客との交流が促進され、特に関宿での観光の魅力が高まる。しかしながら、社会情勢は常に変動するもので、長期的に効果を見ていくべきである。	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	生活文化部 地域観光課 観光交流グループリーダー 木田博人
【最終評価者】	生活文化部 地域観光課長 木田博人

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	
	成果	B	B	B	B	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		17,700 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	17,700 千円
	令和3年度への繰越額	千円